

インターバンクの声（2016 年 12 月 12 日）

今週の米連邦公開市場委員会 (FOMC) が済むまで円相場が 115 円を越えるのは難しいのではとの見方が多かったが、金曜日の海外市場であっさり突破してしまい、ニューヨーク市場では 115 円 38 銭の高値を付けている。東京市場の午後はずっと 114 円台中盤から後半での値動きが続いたが、ロンドン市場も特段の材料がない中、欧州株の堅調な動きや米中長期金利の上昇が投資家の円売りを誘ったのか、114 円 70 銭を抜けると円売りの勢いが強まった。その後、欧州中央銀行 (ECB) がイタリアのモンテ・デイ・パスキ・ディ・シエナ銀行からの増資計画の延期を拒否したとの報道が流れ、米金利が低下したため円相場も一時的に 114 円台に戻す場面もあった。ただ米金利が直ぐに反発上昇したことやミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を上回る高水準だったこともあり、ニューヨーク市場の後半では終始 115 円台前半での値動きが続いた。心理的な節目でもあった 115 円を抜けてしまったため、次の目標水準は 117 円や 120 円になるとの声も聞こえ始めているが、15 日 (木) の東京の早朝に発表される米 FOMC を見届けていったん大きなポジション調整が出る可能性もあり、ここまでドルを積極的に買えなかった人たちにとっては益々ドルを買い難くなっている。

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。